

平成 29 年度 日吉みんなの保育園 園の自己評価

① 「子どもの人権の尊重」についての評価

日吉みんなの保育園の保育理念については保護者・職員が子どもを真ん中に育ちあうとしている。保護者には4月に説明し、更に毎月の園だよりに掲載している。職員はもちろんパートの職員にも徹底しており、問題を感じたときは必ず話し合っている。

② 「サービスの実施内容」についての評価

保育室の狭さなどにより、落ち着いた環境ができていないという職員もいたが、日々の保育のなかで工夫を重ね、自由にあそべるように話し合ってきた。毎日朝の会を行い、歌や手話ソングなどを共にし、低い年齢の子どもも真似をする中で徐々に表現できるようになってきた。子ども同士のけんかなどもお互いの意見を保育士が代弁してコミュニケーションをとれるように援助した。

③ 「地域支援機能」についての評価

「どの子ども素晴らしく育つ」という日吉みんなの保育園の基本方針のもと、子育て支援の保育室開放事業の「遊ぼう会」や育児相談を定期的で開催した。電話での一時保育の申し込みでは受け入れできない場合は、他の園を紹介するなどの対応を行ってきた。緊急一時預かりには最大限努力した。

④ 「開かれた運営」についての評価

これについては職員も高い評価をしている。ホームページや地域の子育て雑誌には情報をできるだけ載せている。地域の保育園には折々に足を運んで情報共有をしている。ボランティア、インターンシップ、実習生の受け入れは積極的に行っている。

⑤ 「人材育成・援助技術の向上について」の評価

保育の中味の向上をめざして研修を計画的に行い、横浜市その他の研修会にできる限り参加している。自主的な研修も積極的に参加した。29年度から姉妹園ができたので、合同での研修を行った。

⑥ 「経営管理」についての評価

理事会、職員の労働組合、保護者会があり、3者の協議のもとで運営している。働きやすい職場を目指して就業規則の改訂や給与面の改善も行った。しかし、人材不足があり、研修や休暇の代替は、職員の超過勤務での対応となっている。職員は最大限協力をしてきている。

◎まとめ

保育園の課題は山積みしており、職員の研修や休暇も保障したうえで、保育はゆとりをもって行いたいと思っている。しかし、現在の働き方、人材、また財源では限界がある。その課題を理事会、労働組合、保護者会、他園との交流など含めてがんばってきた。上記6点については、29年度の目標は達成できたと思う。